

各位

法政大学大学院事務局

2023年1月～当面の 大学院棟・新見附校舎・新一口坂校舎・法科大学院棟の利用について

本学は、2022年12月12日付にて、[2023年度の授業実施方針について](#) を公表しております。

大学院事務局における入構ルールについては変更ありません。大学院棟・新見附校舎・新一口坂校舎・法科大学院棟は23時（新見附校舎は22時45分）までの入構を可とします。

新型コロナウイルス感染症は、依然として猛威を振るっています。入構にあたっては、以下のキャンパス入構時のガイドラインを順守し、さらに、会話時のマスク着用やこまめな手洗い、三密回避、大人数・長時間の飲食を避けるなど、感染しない・させないための行動は、ワクチン接種の有無にかかわらず、これまで以上に留意、徹底してください。

なお、今後の感染状況の変化によっては、方針を変更する場合があります。その際には、すみやかにウェブサイトで公表します。

2022年度大学院在学生の方向け「大学院要項（履修案内）」「時間割」等については、大学院ウェブサイトまたは各研究科のウェブサイトで公開しております。以下のページを適宜ご確認ください。

・ [修了要件・履修案内・時間割・シラバス](#)

【キャンパス入構時のガイドライン】

- ・ 自宅で体温を測定し、平熱でなければ外出しない。
- ・ 風邪のような症状がある場合には外出しない。
- ・ 建物入口に設置された非接触体温計で体温を測定し、発熱がある場合は入館せず速やかに帰宅する。
- ・ 館内ではマスクを着用する。
- ・ 入館時にはアルコールにて手指消毒を行う。
- ・ 在館時間をできるだけ短くする。
- ・ 密集・密接・密閉の状態を回避する。
- ・ 飲食する際は前後に石鹸でよく手を洗う。
- ・ 施設内での私語は慎み必要な話し合いは適度な距離（2m程度）を保って行う。
- ・ ドアノブ、スイッチなどは清潔に保ち、直接触れないよう心掛ける。
- ・ できるだけドアを開放し、換気に心がける。

併せて大学ウェブサイト内の以下のページを確認し、引き続き、感染防止へのご協力をお願いいたします。

・ [感染症拡大防止のための注意・予防対策について](#)

また、万が一新型コロナに感染、あるいは濃厚接触者となった場合には、以下のページより、所属研究科へのご報告をお願いいたします。

・ [感染が疑われる場合、濃厚接触者となった場合、感染と診断された場合の対応について](#)

■各建物への入館、専攻室・共同研究室・スタディールーム・院生研究室等の利用

利用時間は8:00~23:00（新見附校舎共同研究室は8:00~22:45）です。

■事務窓口（電話・メールでの問い合わせ受付を含む）及び証明書自動発行機の利用

通常通り利用可能です。

※2022年度の大学院課窓口における取扱時間は、以下をご参照ください。

- ・ [大学院事務部大学院課（大学院棟1階）窓口事務取扱時間](#)

※2022年度の証明書自動発行機稼働時間は、以下をご覧ください。

- ・ [証明書自動発行機について](#)

■大学院棟内コピー機、常設PC・貸出PCの利用

利用可能です（法科大学院棟、新一口坂校舎内の各種機器の利用、貸出については、各研究科事務室にお問い合わせください）。

■教室の貸出

<授業以外の教室貸し出し：大学院棟・新見附校舎・八重洲市谷ビル>

学生への大学院棟の教室の貸出は、2022年4月1日より、事前予約制となっております。

必ず事前に大学院課窓口（Eメールも可）で、氏名・利用人数を添えてお申し込みください。

教室定員・感染対策等の都合上、許可できない場合がありますので、予めご承知おきください。

free ラウンジ、スタディールームについては、引き続き予約無しでご利用いただけます。

<授業以外の教室貸し出し：新一口坂校舎>

所属する研究科の事務窓口にて確認してください。利用する際は、換気を励行し、節電を心がけてください。

<授業以外の教室貸し出し：法科大学院棟>

利用する際は、換気を励行し、節電を心がけてください。

■教員控室（大学院棟）の利用

冬期休業期間中は閉室となります。2023年度春学期の開室は4月7日（金）からの予定です。

■図書館及びブックポスト（大学院棟1階）の利用

ブックポストは大学院棟開館時のみ利用可能です。図書館の開館時間は図書館ウェブサイト (<https://www.hosei.ac.jp/library/>) をご参照ください。

また、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により、大学の対応に伴って、開館時間の変更または臨時休館があり得ます。必ず上記ウェブサイトの開館カレンダーをご確認のうえ来館してください。

■その他

法科大学院生及びイノベーション・マネジメント研究科の学生は今回のお知らせだけではなく、各研究科のウェブサイトまたは専用グループウェア（desknet's）に掲載される内容もあわせてご確認ください。

以上